

令和6年第1回

山都町議会定例会

提案理由説明書

令和6年3月6日

令和6年第1回定例会を招集しましたところ、御参集を賜り、誠にありがとうございます。

梅田町長は、療養中でございますので、今定例会につきまして、私、副町長の楢林が町長職務代理者として提案理由を説明させていただきます。

まず、梅田町長の現在の状況ですが、入院から約2か月が経過し、順調に回復されているところではありますが、今のところ、主治医から、公務復帰の見通しは、示されていないことから、引き続き、治療に専念していただき、梅田町長の回復と公務復帰を見守りたいと思います。

さて、本町では、新年早々の1月13日に新道の駅がオープンし、2月11日には九州中央自動車道山都通潤橋インターチェンジが開通するなど、喜ばしい出来事が続いております。

週末は、九州中央自動車道を利用して町外からたくさんのお客にお越しいただき、賑わいをみせております。

また、2月23日には「重要文化財通潤橋総合調査報告書」が、第45回熊日出版文化賞を受賞し、選考委員からは「石橋の百科事典」と高い評価を頂きました。

これもひとえに報告書の作成に携わっていただきました関係各位のご尽力と関係職員の努力の賜物であります。

それでは、今定例会に提案しております議案についてご説明いたします。

令和6年度は、令和5年7月豪雨災害等の復旧関連事業の早期発注・竣工を進めていくとともに、国宝に指定された「通潤橋」並びに「九州中央自動車道山都通潤橋インターチェンジの開通」を最大限に活かした町づくりを念頭に置きながら、重点プロジェクトとして位置付けております「中央グラウンド周辺整備事業」、「国宝通潤橋周辺整備事業」、「有機農業を核としたSDGsの推進」等を展開していくこととしております。

また、町内の均衡ある発展を促し、地域間格差が生じないよう、道路インフラの整備や少子高齢化が進む中、介護サービスの充実と買い物困難者に対する支援としての移動販売支援事業など、引き続き高齢者支援を行うとともに、福祉課に子育て支援係を新設し、子どもや子育て家庭に関する総合相談窓口として「子ども家庭センター」を設置し、子育て支援体制を整備してまいります。

このようなことから、令和6年度の一般会計予算においては、総額170億7千3百万円を計上しております。

今回の定例会に提出する議案等は32件で、条例15件、補正予算5件、当初予算6件、その他6件です。

いずれも、町長の政策方針並びに各種法令改正等を踏まえた提案となっております。

議案第5号から議案第19号は、それぞれ必要な条例の一部改正や新たな条例の制定や廃止を行うものです。

議案第20号から第24号は、令和5年度における一般会計及び特別会計並びに事業会計の補正予算に関するものです。

議案第25号から第30号は、令和6年度における一般会計及び特別会計並びに事業会計の当初予算に関するものです。

議案第31号は、町有財産の処分に関するものです。

議案第32号は、分収契約に基づく町有林の処分に関するものです。

議案第33号は、山都町過疎地域持続的発展計画の変更に関するものです。

議案第34号は、一般廃棄物の処分に関する事務の委託に関するものです。

議案第35号、議案第36号は、それぞれの工事請負変更契約の締結に関するものです。

以上、提案理由について説明いたしました。

詳細については、担当課長から説明させますので、ご審議の程よろしくお願いいたします。